

平地の自然案内図



河原の自然



酒匂川の河原全景



川音川

松田町を流れる酒匂川は広い河原をもっています。河原は環境の変化が多く、水をかぶったり、時には乾燥し高温になったりする厳しい環境です。そんな中で、クズやカワラヨモギなどが環境に適応して生きています。ツルヨシは地表に茎を伸ばし、砂や石をしっかりつなぎ止めているよう

です。少し安定した所にはアシやオギ・ススキが育ちます。

丹沢の山を発した川が寄では中津川として流れ、川音川となって松田を流れます。川音川の河原には植物も多く見られ、オニグルミなどの樹木も育ってきます。そこでは様々な昆虫や鳥類も観察できます。

河原の

野草



オオイヌタデ
(9月)



ツルヨシ
(4月)



カワラヨモギ
(10月)



クレソン
(5月)



カワラナデシコ
(8月)



コマツヨイグサ
(8月)



セイタカアワダチソウ
(11月)



マメグンバイナズナ
(6月)

河原の虫



ヒゲナガカワトビケラ
(5月～10月)



オオハサミムシ
(4月～10月)



ハマキフクログモ
(5月～9月)



ケラ
(5月～11月)



イボバツタ
(8月～11月)



ヒシバツタ
(4月～11月)



トノサマバツタ (6月～11月)



ツチイナゴ (3～5月、8～12月)



セスジツユムシ (9月～12月)



クビキリギス (4月～6月)

水中の生き物



川音川の観察会

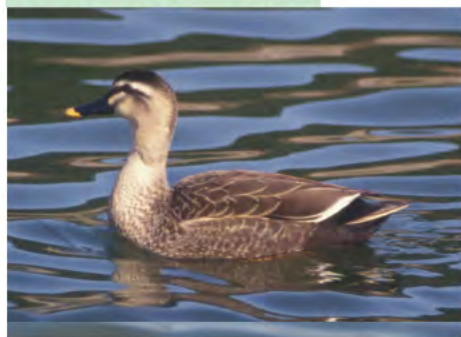


川の生き物調べ観察結果(松田町自然館生き物講座)

松田町中丸児童公園前の川音川にて

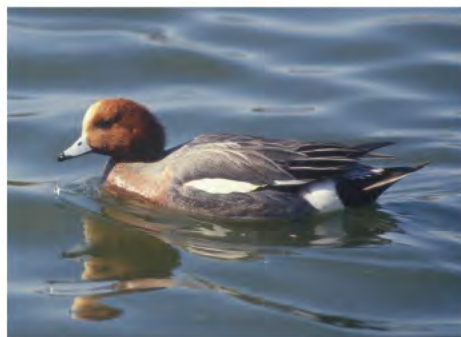
	類	グループ名	種名	23年
1	水生昆虫	カゲロウ目	チラカゲロウ	○
			エルモンヒラタカゲロウ	
			シロタニガワカゲロウ	○
			モンカゲロウ	○
			コカゲロウ	○
		カワゲラ目		
		トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ	○
			ニンギョウトビケラ	
		ヘビトンボ目	ヘビトンボ	○
		ハエ目	ガガンボ	○
		トンボ目	コオニヤンマ	○
			オニヤンマ	○
			コヤマトンボ	○
			ハグロトンボ	○
			ギンヤンマ	○
		ムギワラトンボ	ムギワラトンボ	○
カメムシ目	アメンボ	○		
甲虫目	ヒラタドROMシ			
	モンキマメゲンゴロウ			
2	軟体動物	ニナ目	カワニナ	
3	節足動物	十脚目	アメリカザリガニ	○
			テナガエビ	○
			ヌカエビ	○
			ヤマトヌカエビ	○
			サワガニ	○
4	魚類	コイ目	アブラハヤ	○
			シマドジョウ	○
			ホトケドジョウ	○
			カジカ	○
		サケ目	アユ	○
5	両性類	カエル目	ツチガエル	○
			ヒキガエル	○

河原の野鳥



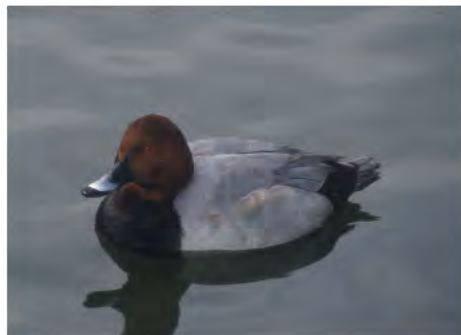
カルガモ

くちばしと足の黄色が目立つカモです。雄も雌も同じような地味な姿ですが、親子の行列で知られている身近な野鳥です。



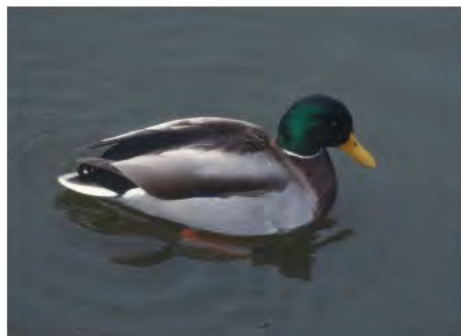
ヒドリガモ

頭が赤茶色でホシハジロと似ていますが、この種はひたいに黄色のすじが入っているので区別できます。あちこちの川で多く見られます。



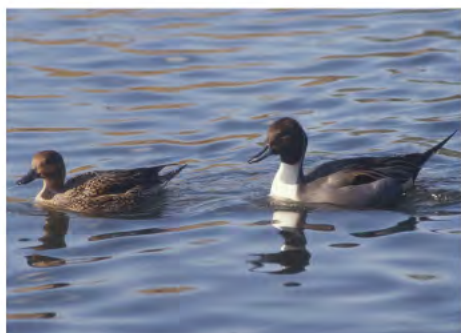
ホシハジロ

頭が茶色でヒドリガモに似ていますが、顔の黄色いたてスジがありません。潜水して川底の貝や水草を食べます。



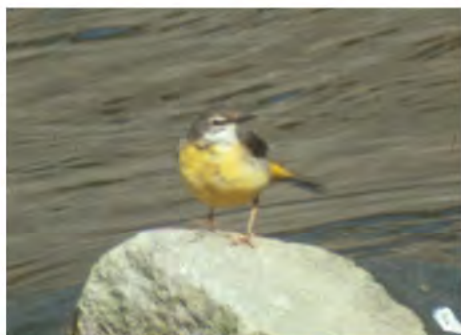
マガモ

雄は輝緑色をした頭をしているので見分けやすいのですが、雌は地味です。主に水草を食べるのでお尻だけ出して水中にもぐっているのを見かけます。



オナガガモ

水上に浮かんでいるときに、雄は尾羽をピンと斜めに上げています。



キセキレイ

他のセキレイ類と同じように、大きな波形をえがきながらチチュンチュンと鳴きながら飛んでいます。腹が黄色なのが目立ちます。



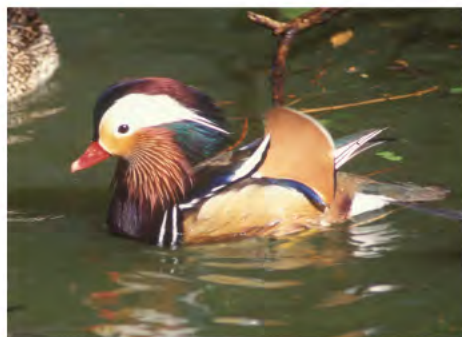
セグロセキレイ

河原や街中で長い尾を振りながら虫を探しているのを良く見かけます。頭から胸・背が黒いので白っぽいハクセキレイと区別できます。



カワウ

全身真っ黒でカラスのようですが、首が長いので区別できます。最近酒匂川にたくさん飛来するようになりましたが小魚をたくさん食べてしまうので問題にもなっています。



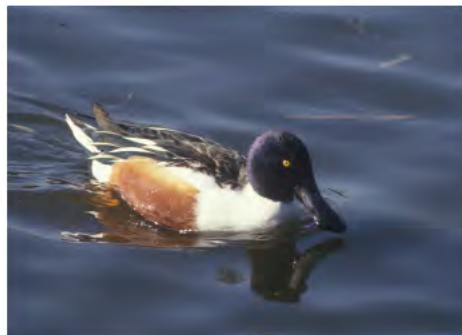
オシドリ

雄の美しいカモですが、秋には雄も雌のような地味な姿に変わります。夫婦仲の良さの代名詞ですが、つがいは毎年変わっています。



キンクロハジロ

白と黒のツートンカラーが目立ちます。酒匂川や川音川で貝や魚を採っている様子が観察できます。



ハシビロガモ

中型の美しいカモです。くちばしが大きくへらのような形をしているのが特徴。冬に酒匂川に渡ってきて、くちばしを上手に使って水草等を食べています。



ユリカモメ

別名を都鳥というのは海の近くの町に飛来するからでしょうか？冬は白い顔をしています。夏には黒い顔に変わります。くちばしの赤色が目立ちます。

河原の石



細粒凝灰岩



粗粒凝灰岩



火山礫凝灰岩



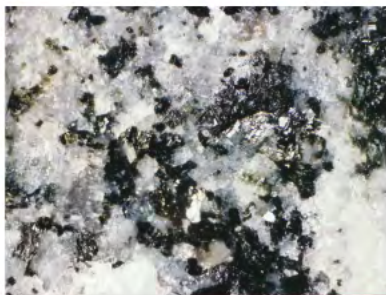
凝灰角礫岩



火山角礫岩



トータル岩



閃緑岩



トータル岩 (拡大)



玄武岩



安山岩



輕石質凝灰岩



角閃岩



石灰岩



泥岩



砂岩



礫岩

街中の自然



街の様子

酒匂川と川音川によって出来た松田山南部の平坦地を中心に住宅街が広がっています。

立ち並ぶ家や商店などの空き地や街路樹の根元、コンクリートの隙間などには分布域の広い植物をはじめ、庭から逃げ出し野生化した植物（逸出植物）や帰化植物が雑草として嫌われながらも育ち、生活史を重ねています。

最近ハキダメギクやペラペラヨメナが増え、年中花を咲かせているようになりました。また、初夏の頃ペニバナユウゲシヨウが咲くと道ばたが花畑のようになりますし、春先には、アスファルトの隙間に咲くヒメスミレを見ると植物の命の強さを思います。

園芸植物や雑草にはそれを食べる昆虫たちが人目を盗んで生き抜いています。

街中の

野草



イヌホオズキ（9月）



カタバミ（6月）



タカサゴユリ（9月）



ツルニチニチソウ（5月）



ドクダミ（6月）



ナガミヒナゲシ (4月)



ヒメスミレ (4月)



ヒメツルソバ (11月)



ヒメフウロ (5月)



ペラペラヨメナ (6月)



ニワゼキショウ (5月)

街中の虫



ニワハンミョウ
(4月～10月)



ヒラタゲモ
(1年中)



アシダカゲモ
(1年中)



イチモンジセセリ
(5月～11月)



ベニシジミ
(3月～11月)



スジグロシロチョウ
(3月～11月)



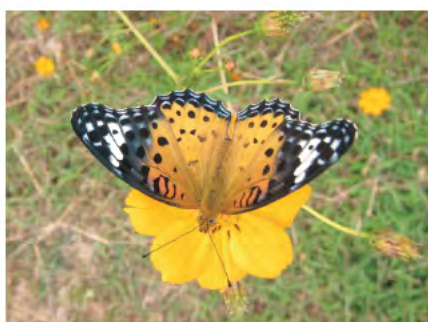
ヤマトシジミ (4月～11月)



クロアゲハ (4月～10月)



アオスジアゲハ (4月～9月)



ツマグロヒョウモン (4月～11月)

街中の野鳥



ツバメ

松田ではイワツバメやコシアカツバメ・ヒメアマツバメなどが観察できますが、尾が二股に分かれているのは本種です。「虫食って土食ってしぶーい」と聞こえるようにさえずります。



キジバト

ゼゼッポポーとゆっくり鳴くので、老人の耳に心地よく「長寿鳥」として親しまれています。半分消化した「ピジョンミルク」をヒナに与えます。



ハシボソガラス

くちばしが細く、額が出ないカラスです。ガーガーとにごった声で鳴きます。畑や河原には多く見られますが、街中では少ないようです。



ハシブトガラス

くちばしが太く、額が出ているように見えるカラスです。人が落としたゴミを食べるので街中で見られます。鳴き声はカーカーと澄んだ声です。